新日軽

施工説明書番号 ME-2143

改－4

形材フェンス（自在柱式） 施工説明書

●この度は、当社商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。
●商品保証・各種ご注意・お手入れ方法につきましては、「総合カタログ」をご参照ください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

●ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●ブロック施工には重量ブロック JISA5406 区分 16（C 種）以上を使用してください。高さ 1200 風速 38m/s の場合は、12cm ブロック以上を使用してください。
●ブロック塀の総高さ（フェンス含む）は 2.2m を超えないように施工してください。
●フェンス柱はブロックの中心に設置してください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
●支柱の水抜き穴はモルタル等で塞がないでください。
●風当りの強い場所にフェンスを設置する場合は、自在柱式納まりで柱間隔を 1000mm 以内にしてください。
●屋上や沿岸に面した非常に風当りの強い場所等には設置しないでください。
●養生期間は十分（４日～１週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意
●本体に乗ったり、揺すったり、腰掛けたりしないでください。
●商品をみだりに改造、変更しないでください。
●本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。
●雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
●商品に電線等を直接載せないでください。

ラミネート製品のお手入れについて

●汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面でたたくようにしてください。
●年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
●汚れが軽い場合：やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。
●汚れが目立つ場合 ：中性洗剤を薄めた液で汚れを落し洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

もくじ

梱包明細 …… 1
納まり図 …… 2
１．柱の設置 …… 2
２．フェンスの取付け …… 3
２－１直線部の取付け …… 3
２－２目隠しコーナー継手Ｌの組立て …… 4
２－３コーナー部の取付け …… 4
３．フェンスの切詰め …… 5
３－１切詰め前の確認 …… 5
３－２胴縁の加工 …… 5
３－３タイプ別の加工 …… 5

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●説明書に記載している部材・部品(ビス含)以外は使用しないでください。

梱包名称		梱包内容　※表内の（ ）は個数を表しています。
フェンス本体		フェンス本体（1）
自在柱式	自在柱	自在柱（1）・上部固定金具（1） φ４×10 トラスタッピン３種（1） ジョイントスリーブ（上・下各 1） φ４×10 トラスタッピン１種（4）
	エンドキャップ	エンドキャップ（上・下各 2）・施工説明書 [ME-2143]（1） φ４×10 トラスタッピン１種（4）
	格子付コーナーヒンジ 目隠しコーナー継手	格子付コーナーヒンジまたは目隠しコーナー継手（1） φ４×10 トラスタッピン１種（4）
	目隠しコーナー継手Ｌ	目隠しコーナー継手Ｌ（1）・胴縁取付部品（4） φ４×14 トラスタッピン３種（4） 継手キャップ（2）・φ４×８トラスタッピン３種（2）

●別売品

梱包名称	梱包内容　※表内の（ ）は個数を表しています。
端部カバー	端部カバー材（2）・ビスセット（1）
連結部品	ジョイントスリーブ（上・下各 1） φ４×10 トラスタッピン１種（4）

■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

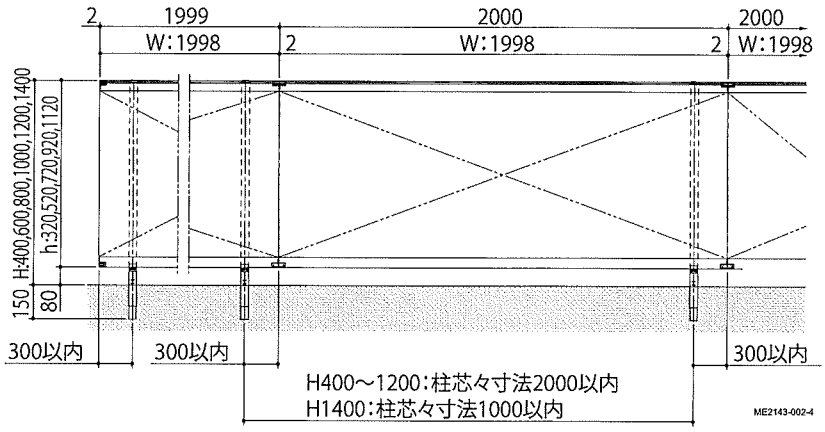
株式会社LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合せください。

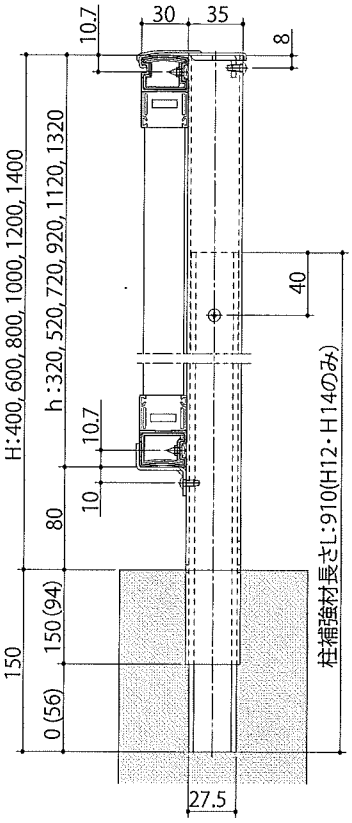
お客様相談室 0120-37-2534

納まり図

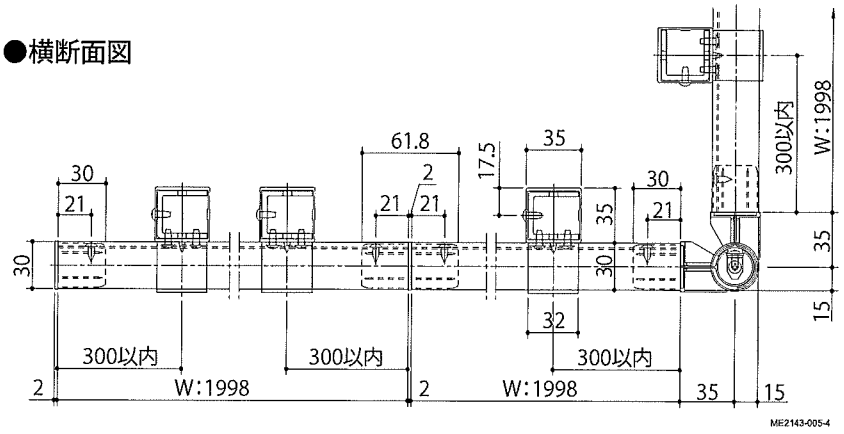
●施工前に必ず確認してください。
●（ ）内寸法は、H1200・1400 の場合を示しています。



●縦断面図



●横断面図



1 柱の設置

①「納まり図」で柱の位置やレベルを確認し、柱を設置してください。

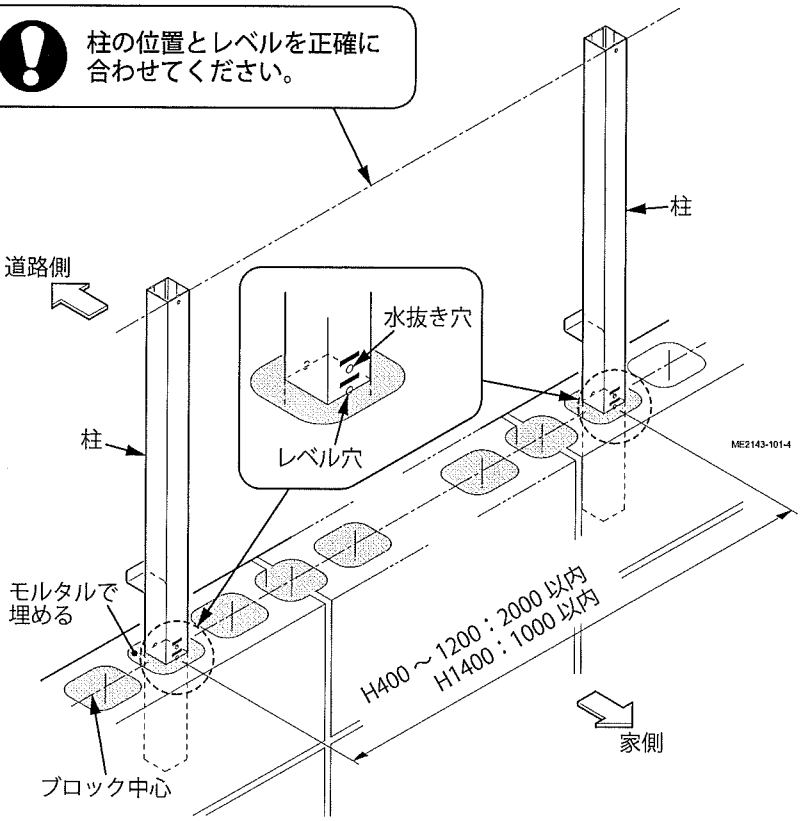
柱をフェンスの連結部・端部より300mm 以内に設置してください。

H1400 および風当りの強い場所にフェンスを設置する場合は、柱の間隔を1000mm 以内で施工してください。
※ H1400 の場合は、強風地域では使用できません。

地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように、柱位置を決めてください。

レベル孔を目安に、水抜き穴をふさがないように柱を埋め込んでください。
※水抜き穴をふさぐと、凍結破損の原因になります。

柱の位置とレベルを正確に合わせてください。



2 フェンスの取付け

2－1 直線部の取付け

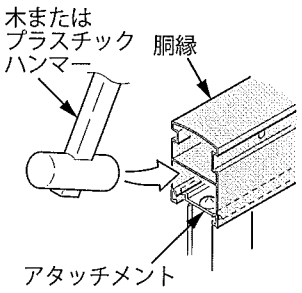
①フェンスを柱の下部固定金具に載せ、上部固定金具で柱に固定してください。
②ジョイントスリーブでフェンスを連結してください。

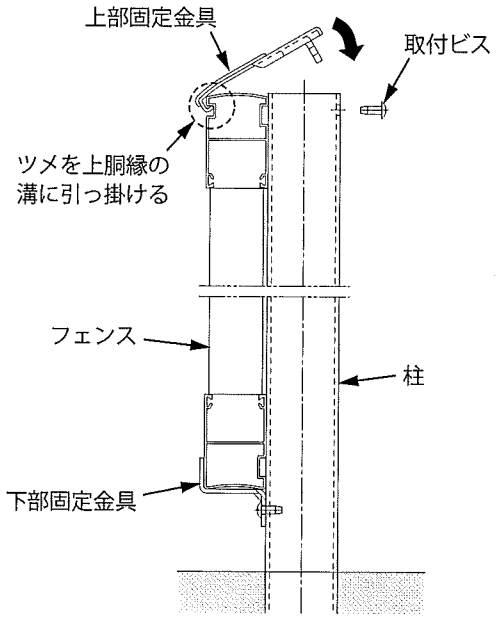
フェンスは、連結させながら固定してください。

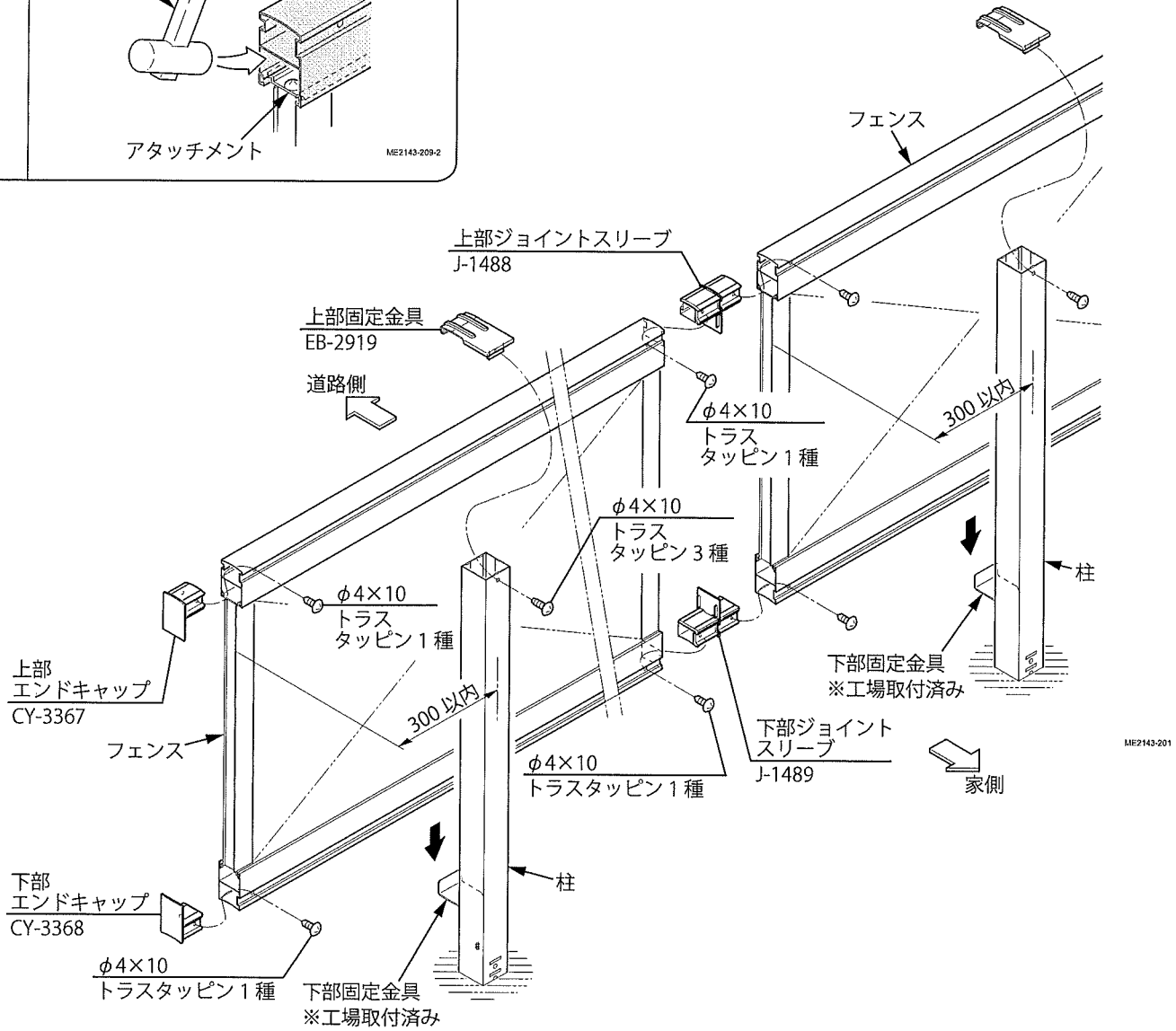
フェンスの連結部・端部が、柱より 300mm 以内となる位置で固定してください。

③エンドキャップをフェンスの端部に取付けてください。

フェンスの上・下胴縁とアタッチメントがずれている場合は、端部が合うように調整してください。
※出荷時、上・下胴縁とアタッチメントは仮止めのためカシメられています。





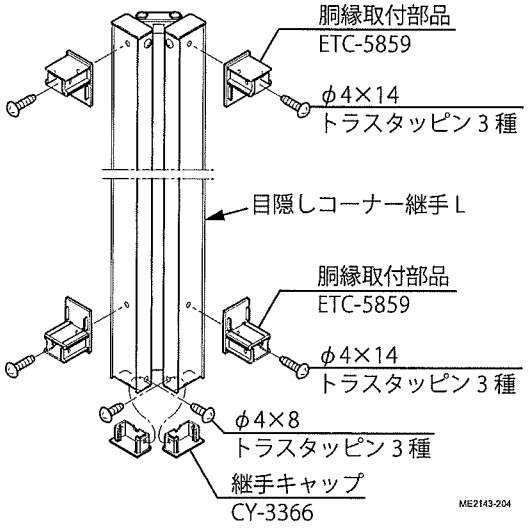


2－2 目隠しコーナー継手Ｌの組立て

下部ふさぎ板を使用する場合は、コーナー部には目隠しコーナー継手Ｌを使用してください。

①胴縁取付部品を目隠しコーナー継手Ｌに取付けてください。

②コーナー継手キャップを、目隠しコーナー継手Ｌの下部に取付けてください。



2－3 コーナー部の取付け

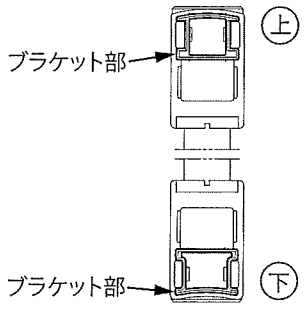
①格子付コーナーヒンジ、目隠しコーナー継手または目隠しコーナー継手Ｌを用いて、コーナー部のフェンスを連結してください。

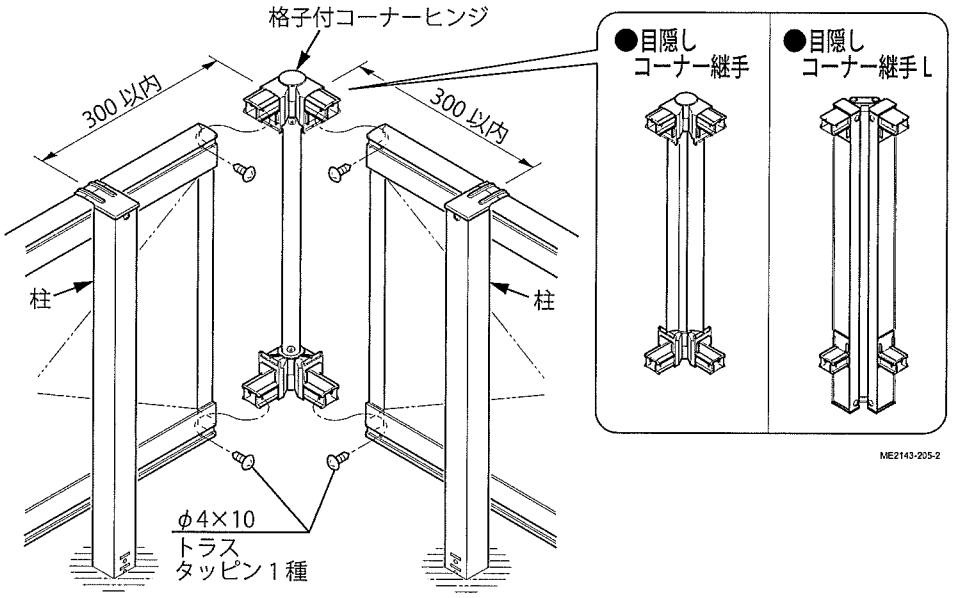
●コーナー部は柱を２本建てしてください。

●柱をコーナー部より300mm以内の位置に設置してください。

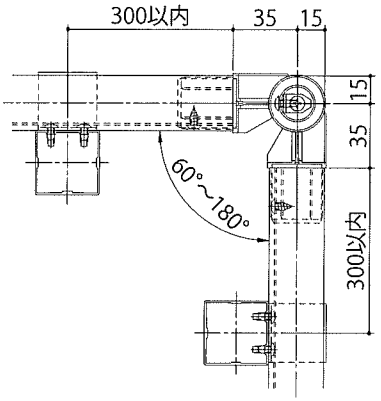
格子付コーナーヒンジ・目隠しコーナー継手には上・下の区別があります。

※ブラケット部の形状で判断してください。

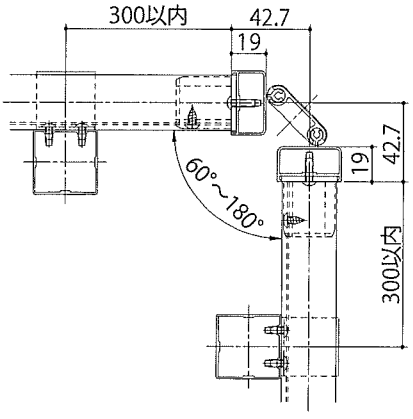




●格子付コーナーヒンジ
●目隠しコーナー継手



●目隠しコーナー継手Ｌ



ME2143-206-2

3 フェンスの切詰め

●現場寸法に合わせ、切詰めを行う場合に参照してください。

3－1 切詰め前の確認

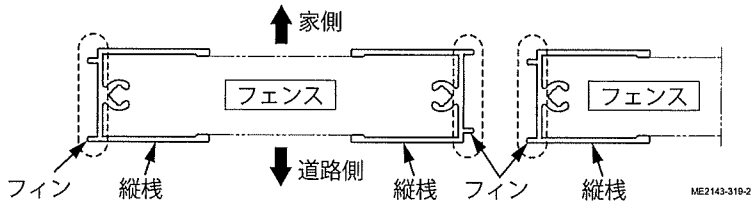
切詰めには、丸のこを使用してください。ベビーサンダー等の金属研磨砥石を使用しないでください。
※切詰め・組立て不良の原因になります。

●1枚のフェンスを切断し2枚に分けて使用する場合は、フェンス端部に端部カバーの取付けが必要になります。
（※涼雅フェンスRシリーズを除く）

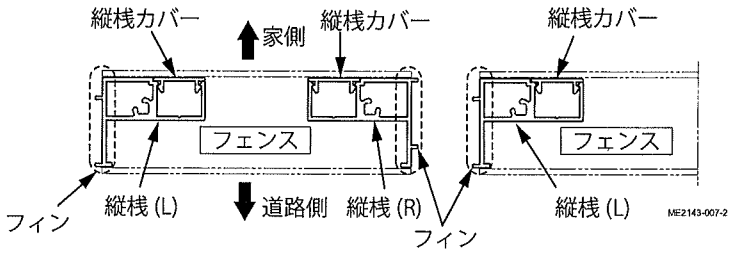
●フェンスのデザインのタイプにより、ある一定のピッチでのみ切詰めが可能なものがありますので注意してください。

再度フェンスを組立てる際、縦桟の上下を間違えないでください。
※縦桟のフィンの位置で判断してください。（右図参照）
※右図はフェンスの上側からみた場合を示しています。
※モデノフェンスR1・R2・R5・R6型の場合は、縦桟にRLがあります。

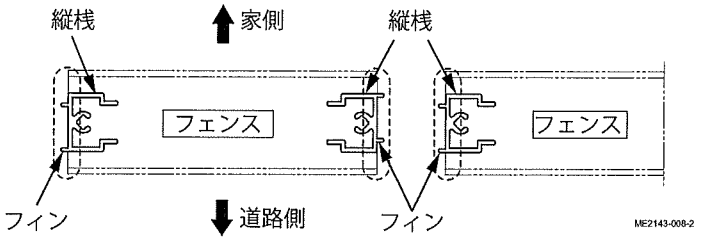
●エクジスフェンスRシリーズ
●セレビューフェンスR・RPシリーズ



●モデノフェンスR1・R2・R5型（横格子・パネルタイプ）
●モデノフェンスR6型（横目隠しタイプ）



●モデノフェンスR4型（縦目隠しタイプ）



3－2 胴縁の加工

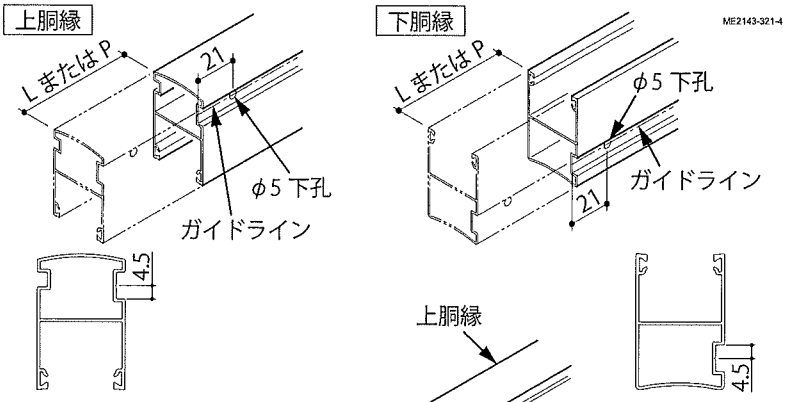
①上・下胴縁をスライドさせて外してください（涼雅フェンスRシリーズを除く）。

上・下胴縁は片側端部をカシメています。左右どちらかに抜ける方向にスライドしてください。
※涼雅フェンスRシリーズの場合は、カシメ固定を外さず、上・下胴縁も外しません。

②上・下胴縁（涼雅フェンスRシリーズの場合はフェンス）を指定位置または任意の寸法で切詰めてください。

「3-3. タイプ別の加工」を合わせて参照してください。
※フェンスのデザインのタイプにより、ある一定のピッチでのみ切詰めが可能なものがあります。

③上・下胴縁のガイドライン上にφ5mmの下孔をあけてください。

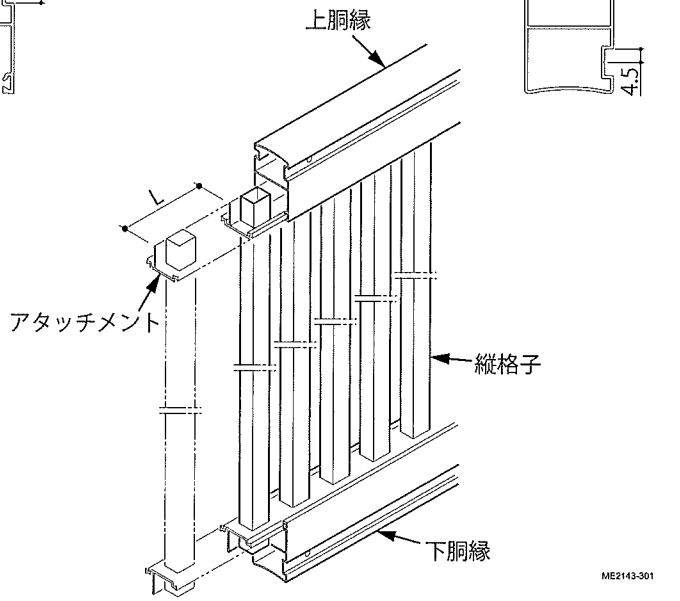


3－3 タイプ別の加工

縦格子タイプ

該当：エクジスフェンスR2型・R10型
セレビューフェンスR2型・R4型・RP2型・RP4型
モデノフェンスR3型

①アタッチメントを、縦格子部を避けて切詰めてください。



横格子タイプ

該当：エクジスフェンス R1 型・R9 型
セレビューフェンス R1 型・R3 型・RP1 型・RP3 型

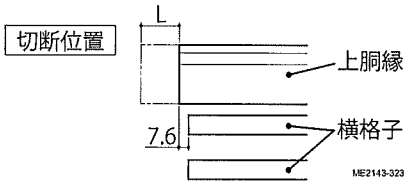
フェンスの連結部側を切詰めてください。

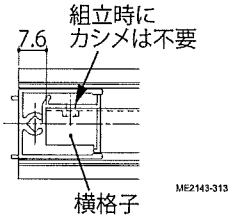
①縦桟を取外してください。
②縦桟アタッチメントを、横格子とのカシメ部をφ 5mm のキリで穴あけして取外してください。
③右図を参照して、各部材を切詰めてください。

格子は、上・下胴縁の端部より－ 7.6mm 切詰めてください。

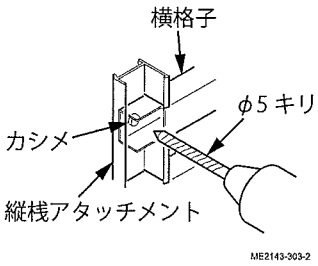
④上下のアタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。
⑤再度、フェンスを組立ててください。

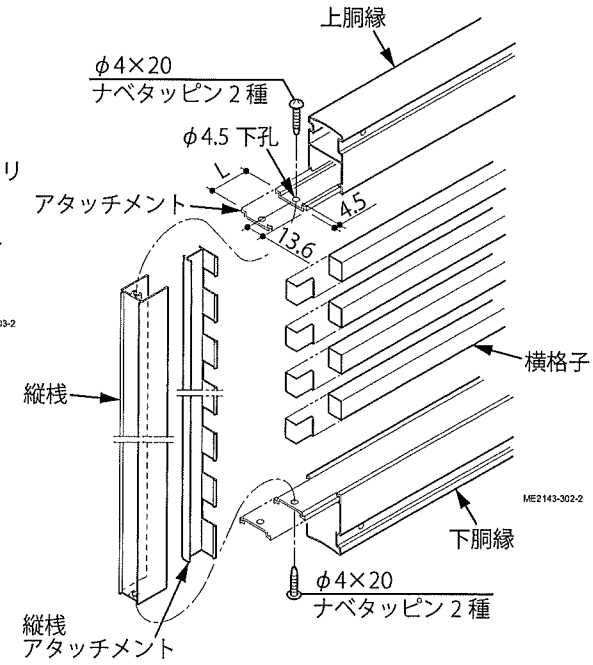
組立時、「手順②」のカシメは必要ありません。





●カシメ部拡大図





井桁格子タイプ

該当：エクジスフェンス R3 型

①縦桟を取外してください。
②右図を参照して、各部材を切詰めてください。

格子は、上・下胴縁の端部より－ 7.5mm で切詰めてください。
※縦格子・アタッチメントを避けて切詰めてください。

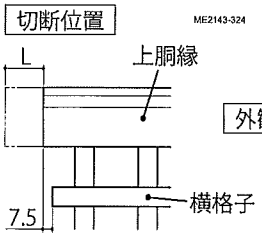
縦桟には左右の区別があります。
※上下・左右を間違えないようにしてください。

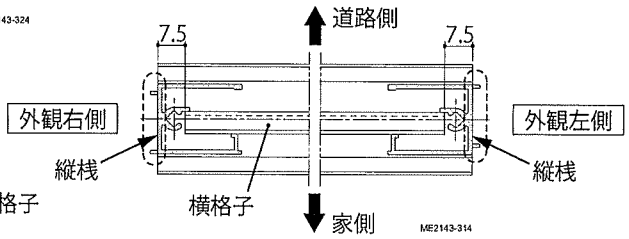
③切詰後、右図を参照してアタッチメントと 1 本目の縦格子に下孔をあけて、ビス止めしてください。

取付ビスは、切詰めた縦格子に取付けられているビスを使用してください。

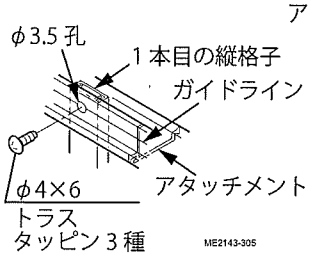
④上下のアタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。

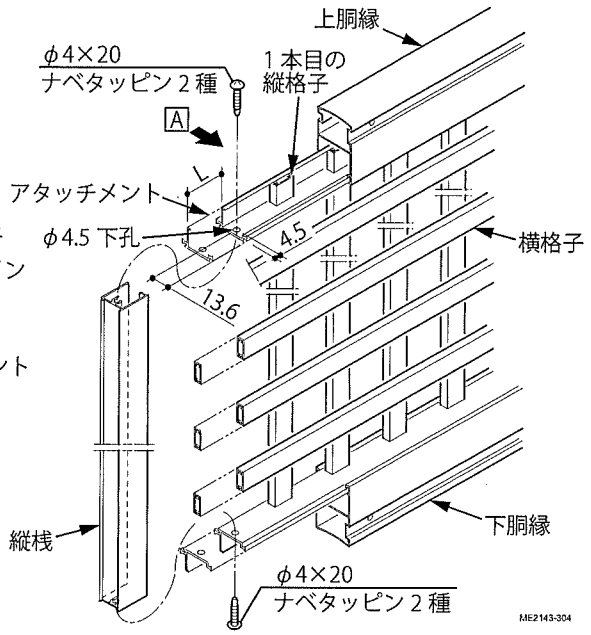
⑤再度、フェンスを組立ててください。





●A から見る





横ルーバータイプ 1

該当：エクジスフェンス R5 型・R7 型

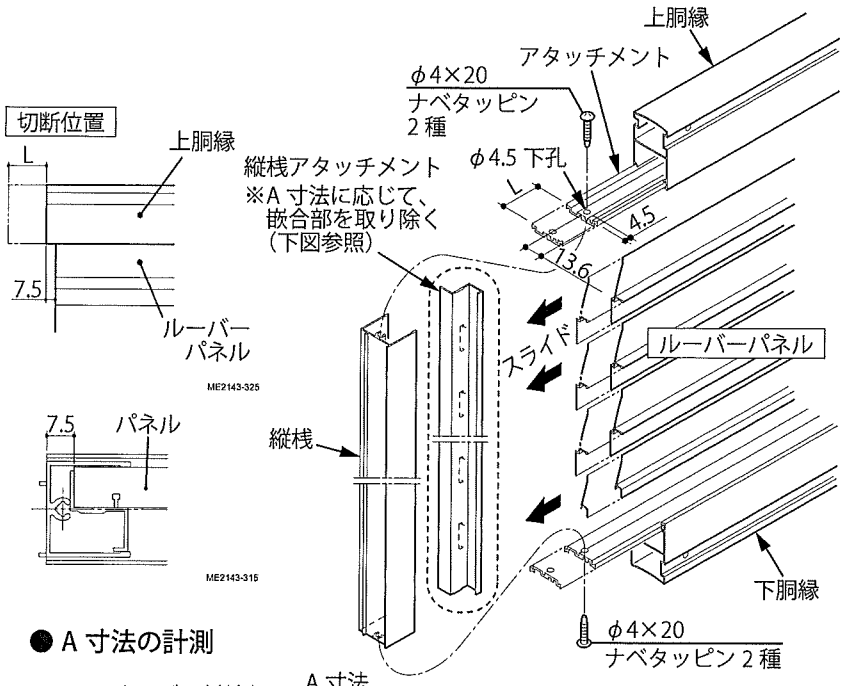
①縦桟・縦桟アタッチメントを取外してください。

> 縦桟アタッチメントをルーバーパネルからスライドさせて外してください。

②右図を参照して、各部材を切詰めてください。

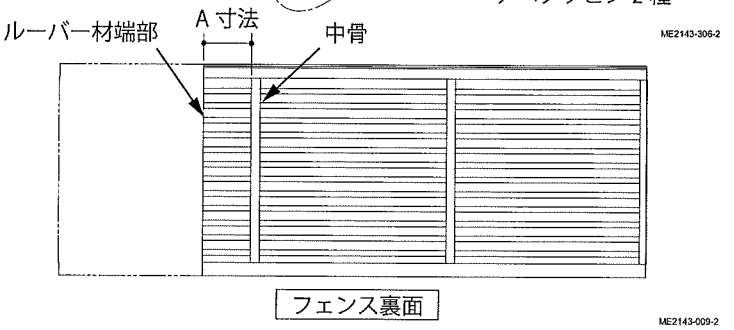
> ルーバーパネルは、上・下胴縁の端部より－7.5mm で切詰めてください。

> 最下段のルーバーパネルのみ形状が異なります。
> ※上段のパネルと同寸法で切詰めてください。



③切詰め後、ルーバー材の端部から中骨までの寸法（A 寸法）を計測してください。

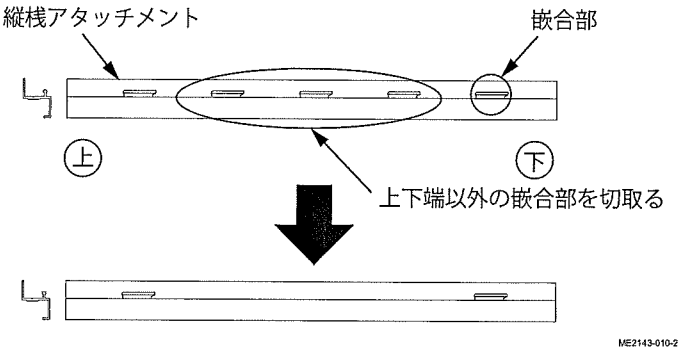
● A 寸法の計測



④ A 寸法が 200mm 未満の場合は、縦桟アタッチメントの上下端以外の嵌合部をペンチ等で取り除いてください。
※ A 寸法が 200mm 以上の場合は、作業不要です。

> 縦桟アタッチメントでの嵌合は無くなりますが、中骨でルーバーを支えるため、ルーバーがばたつくことはありません。

● A 寸法が 200mm 未満の場合

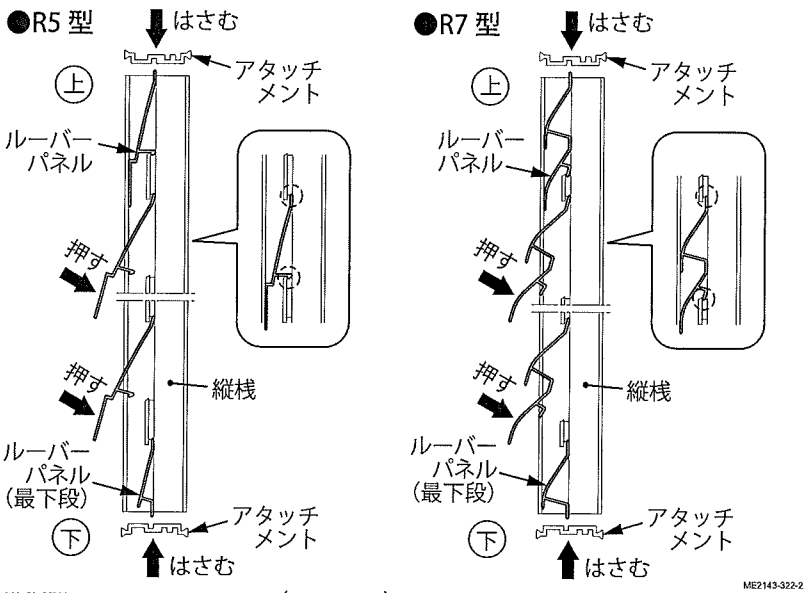


⑤上下のアタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。

⑥中間部のルーバーパネルを、右図を参照して縦桟アタッチメントの係り部に確実にはめ込んでください。

⑦最上段・最下段のルーバーパネルをアタッチメントではさみこんでください。

⑧縦桟を、上・下アタッチメントに取付けてください。



横ルーバータイプ２

該当：セレビューフェンス R5 型

フェンスの連結部側を切詰めてください。

①縦桟を取外してください。

②横ルーバーパネルの２ヶ所のカシメ部をφ 5mm のキリで穴あけして、縦桟アタッチメントを取外してください。

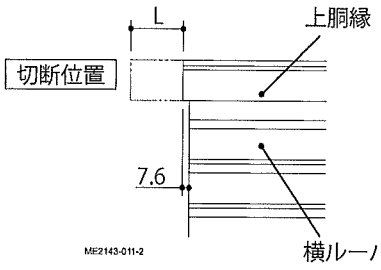
③右図を参照して、各部材を切詰めてください。

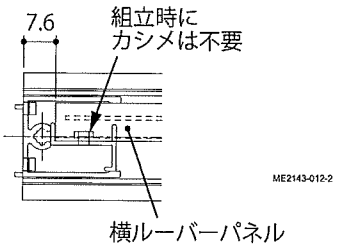
横ルーバーパネルは、上・下胴縁の端部より－ 7.6mm 切詰めてください。

④上下のアタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。

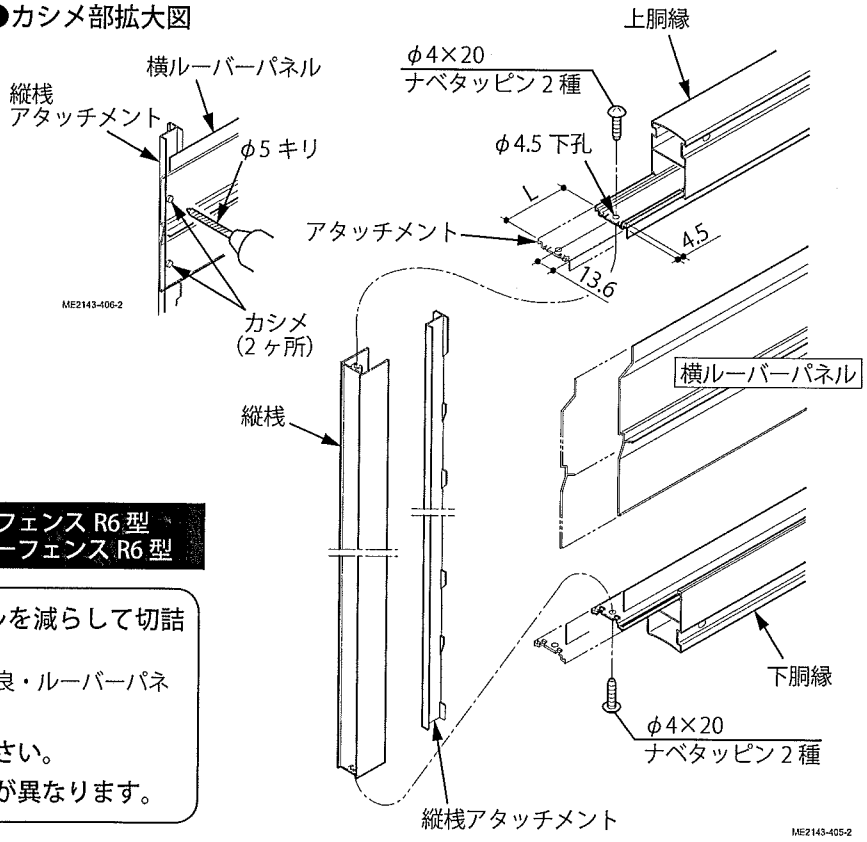
⑤再度、フェンスを組立ててください。

組立時、「手順②」のカシメは必要ありません。





●カシメ部拡大図



縦ルーバータイプ

該当：エクジスフェンス R6 型
セレビューフェンス R6 型

●縦ルーバータイプはルーバーパネルを減らして切詰めてください。
※指定寸法で切詰めないと、縦桟の取付不良・ルーバーパネルのがたつきの原因になります。
●フェンスの連結部側を切詰めてください。
●フェンスの種類によって切詰め方向が異なります。

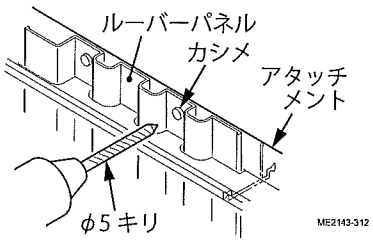
●パネル１枚のピッチ

(mm)

フェンスの種類	ピッチ（P）	切詰め方向
エクジスフェンス R6 型	98	外観左側
セレビューフェンス R6 型	103	外観右側

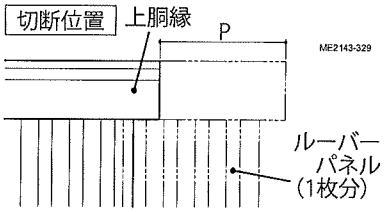
①縦桟を取外してください。

②切詰めるルーバーパネルを、アタッチメントとのカシメ部をφ 5mm のキリで穴あけして取外してください。

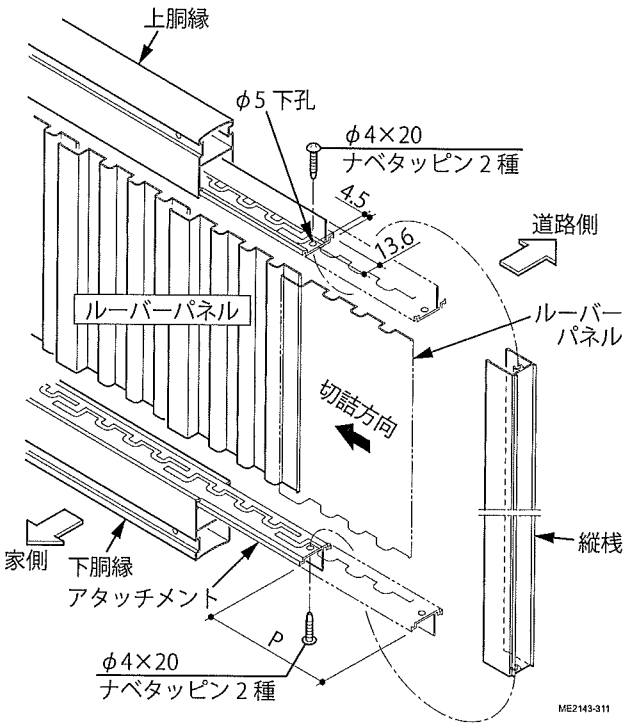


③左図を参照して、アタッチメントを切詰めてください。

④上下のアタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。



⑤再度、フェンスを組立ててください。



採光ルーバータイプ

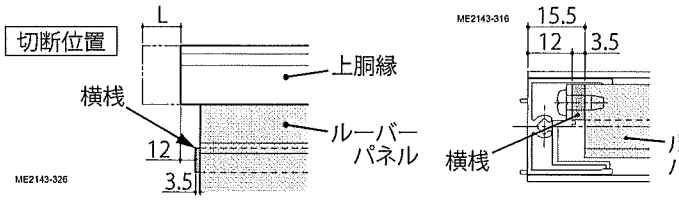
該当：エクジスフェンス R5S 型

①縦桟・縦桟アタッチメントを取外してください。

②右図を参照して、各部材を切詰めてください。

横桟は、上・下胴縁の端部より－ 12mm で切詰めてください。

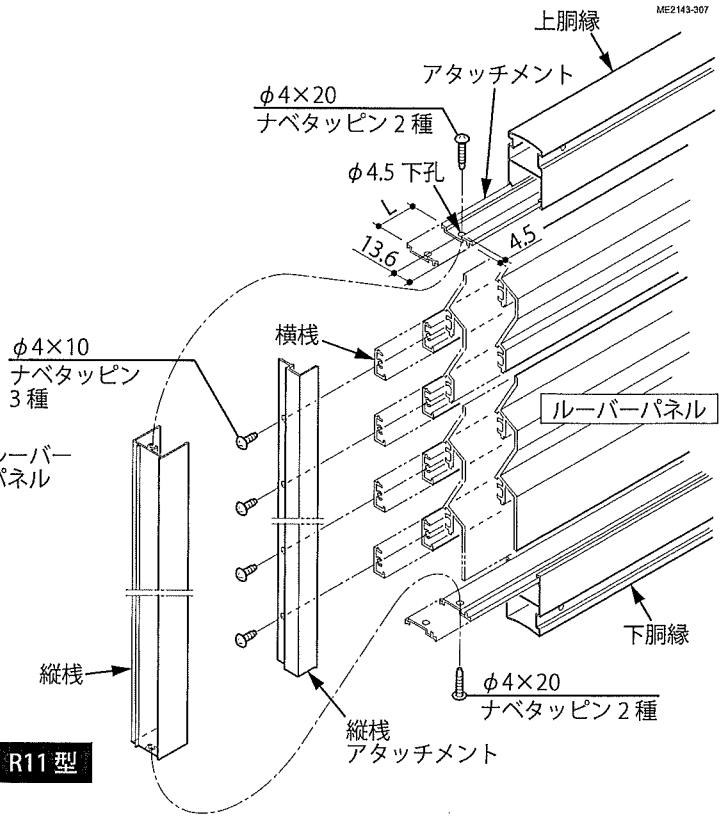
ルーバーパネルは熱伸縮するため、必ず横桟より片側 3.5mm 短くしてください。



最下段のルーバーパネルのみ形状が異なります。
※上段のパネルと同寸法で切詰めてください。

③上下のアタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。

④再度、フェンスを組立ててください。



クロス格子タイプ

該当：エクジスフェンス R4 型・R11 型

クロス格子タイプは、切詰めピッチが決まっています。

・格子切詰めピッチ寸法：P=100

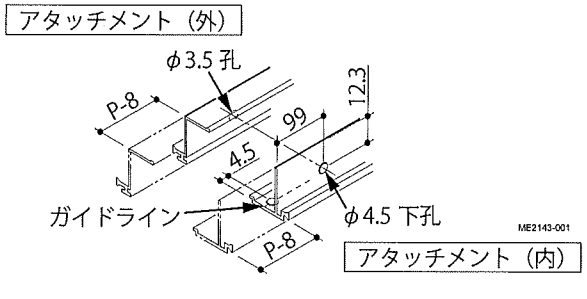
※指定寸法で切詰めないと、縦桟の取付不良・クロス格子のがたつきの原因になります。

①縦桟・縦桟アタッチメントを取外してください。

②右図を参照して、各部材を切詰めてください。

上・下胴縁・アタッチメントは、格子の端部より＋ 8mm で切詰めてください。

③上下のアタッチメント（内）・（外）に下孔をあけてください。

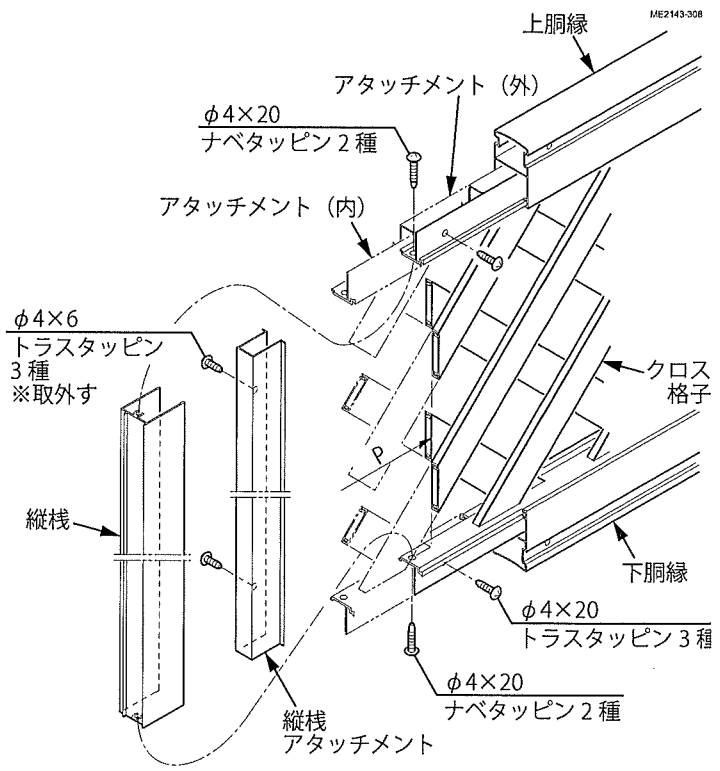


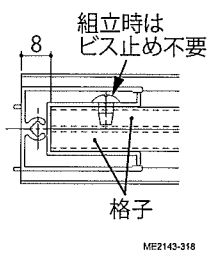
④切詰後、アタッチメント（内）・（外）の端部をビス止めしてクロス格子を固定してください。

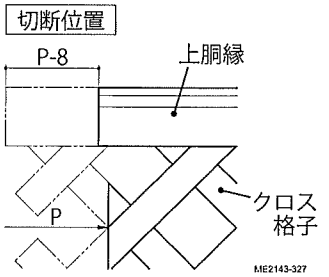
取付ビスは、切詰めたアタッチメント（内）・（外）に取付けられているビスを使用してください。

⑤再度、フェンスを組立ててください。

組立時、クロス格子と縦桟アタッチメントを固定していたビスは必要ありません。





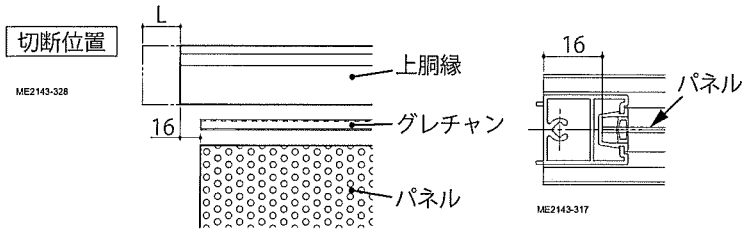


パンチングパネルタイプ・ポリカパネルタイプ

**該当：エクジスフェンス R8 型（パンチング）
R12 型（ポリカパネル）**

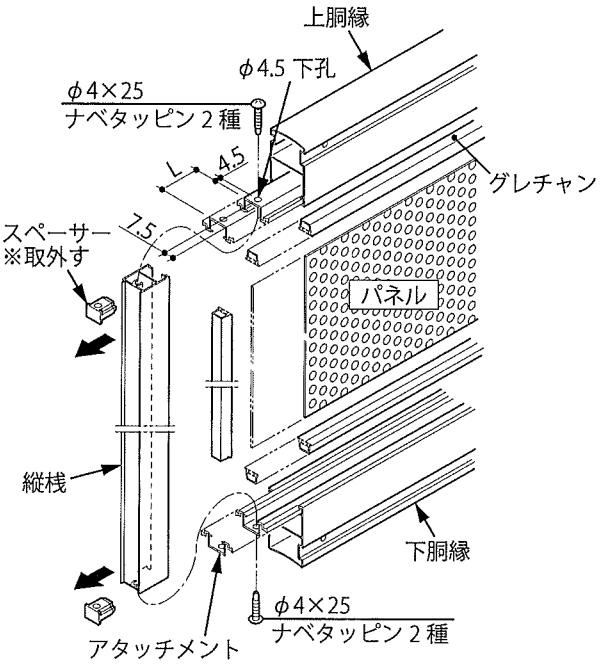
①縦桟を取外してください。
②右図を参照して、各部材を切詰めてください。

パネル・グレチャンは、上・下胴縁の端部より
－ 16mm で切詰めてください。



③上下のアタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。
④再度、フェンスを組立ててください。

組立時、スペーサーは必要ありません。



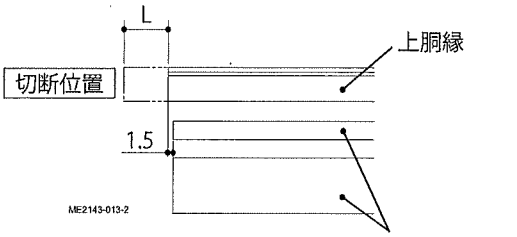
モデノ横格子・パネルタイプ

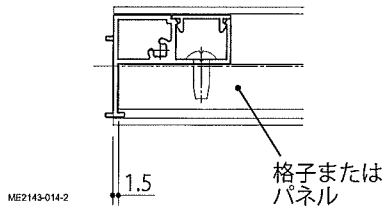
該当：モデノフェンス R1 型・R2 型・R5 型

縦桟には、左右の区別があります。上下・左右を間違えないようにしてください。
※「3-1. 切詰め前の確認」を参照してください。

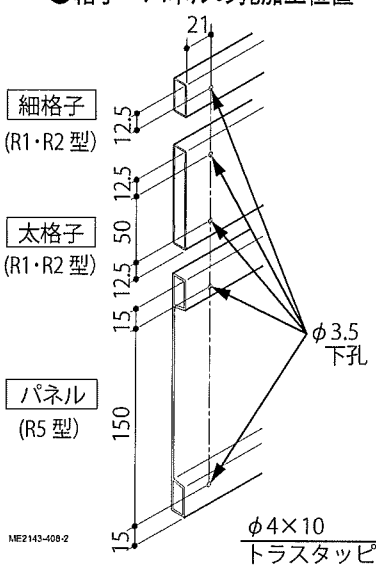
①縦桟カバー・縦桟を取外してください。
②図を参照して、各部材を切詰めてください。

細格子・太格子（R1・R2 型）、またはパネル（R5 型）は、上・下胴縁の端部より
－ 1.5mm で切詰めてください。





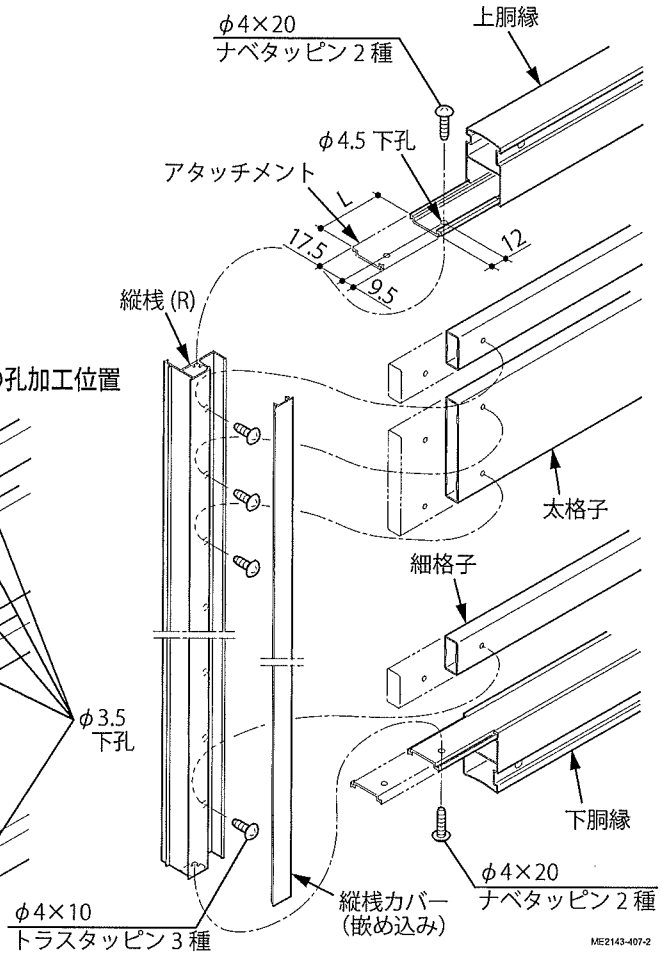
●格子・パネルの孔加工位置



③細格子・太格子（R1・R2 型）、またはパネル（R5 型）にφ 3.5mm の下孔をあけてください。

④上下のアタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。

⑤再度、フェンスを組立ててください。



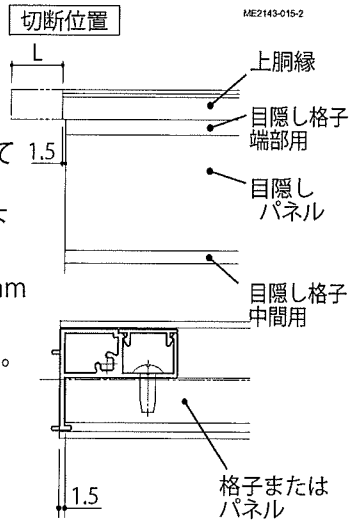
モデノ横目隠しタイプ

該当：モデノフェンス R6 型

縦桟には、左右の区別があります。上下・左右を間違えないようにしてください。
※「3-1. 切詰め前の確認」を参照してください。

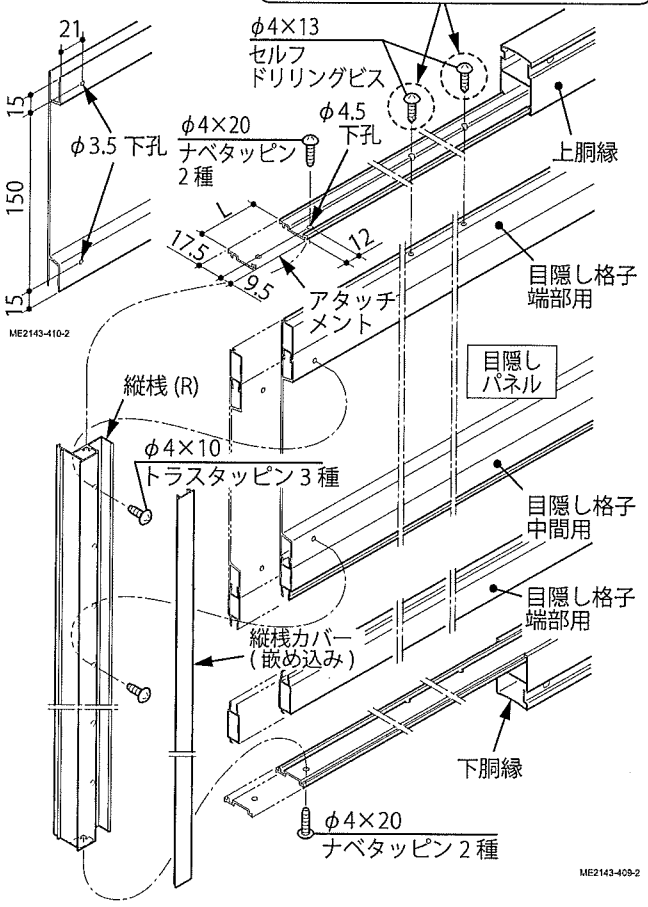
パネル・格子は、上・下胴縁の端部より－ 1.5mm で切詰めてください。

①上下のアタッチメントを取外してください。
②縦桟カバー・縦桟を取外してください。
③右図を参照して、各部材を切詰めてください。
④横目隠しパネルにφ 3.5mm の下孔をあけてください。
⑤上下のアタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。
⑥再度、フェンスを組立ててください。



●横目隠しパネルの孔加工位置

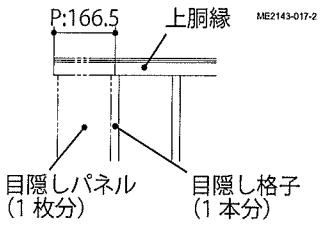
このビスの位置よりも切断寸法が長い場合は、再取付けは不要です。
※ビスは上側2ヶ所のみ



モデノ縦目隠しタイプ

該当：モデノフェンス R4 型

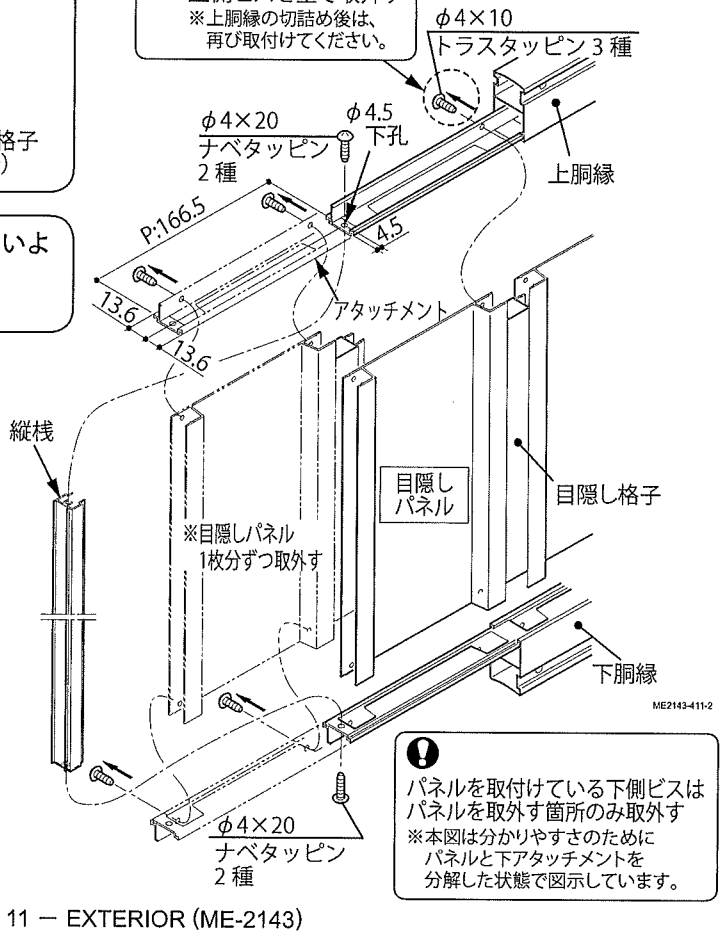
モデノ縦目隠しタイプは目隠しパネルおよび目隠し格子を各 1 本ずつ単位で減らして切詰めてください。
※指定寸法で切詰めないと、縦桟の取付不良、パネル部のがたつきの原因になります。



縦桟には、向きがあります。上下・左右を間違えないようにしてください。
※「3-1. 切詰め前の確認」を参照してください。

①縦桟を取外してください。
②上アタッチメントと目隠しパネルを取付けているビスを全て取外し、上アタッチメントを外してください。
③下アタッチメントと目隠しパネルを取付けているビスを 1 枚分ずつ外し、目隠しパネルと目隠し格子を不要な枚数分取外してください。
④上下のアタッチメントを指定のピッチで切詰めてください。
⑤上下のアタッチメントにφ 4.5mm の下孔をあけてください。
⑥再度、フェンスを組立ててください。

パネルを取付けている上側ビスを全て取外す
※上胴縁の切詰め後は、再び取付けてください。



パネルを取付けている下側ビスはパネルを取外す箇所のみ取外す
※本図は分かりやすさのために パネルと下アタッチメントを 分解した状態で図示しています。

板張りデザインパネルタイプ（カシメタイプ）

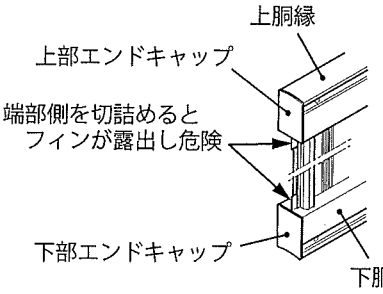
該当：涼雅フェンス R1 型・R2 型・R3 型

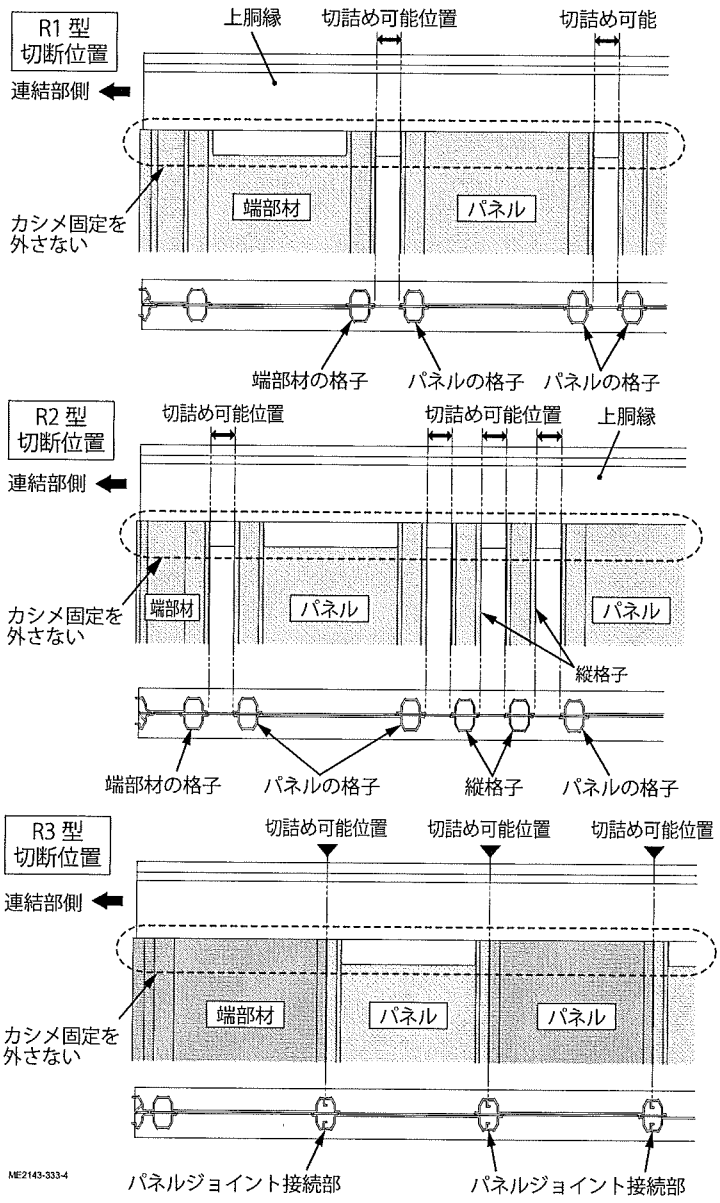
本タイプは、パネルの切詰め位置が限定されます。
- R1 型・R2 型：格子と格子の間
- R3 型：パネルジョイント接続部

※指定位置で切詰めないと、取付不良の原因になります。

- 上・下胴縁のカシメ固定を外さないでください。
- フェンスの連結部側を切詰めてください。

※切断面を端部側へ納めると、組立後に上・下胴縁のフィンが露出するため危険です。



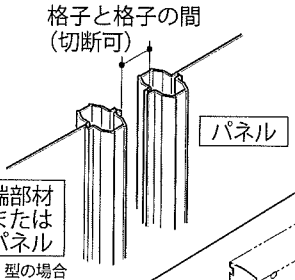


①右上図を参照し、フェンスの切詰め位置を確認してください。
②フェンスを切詰めてください。

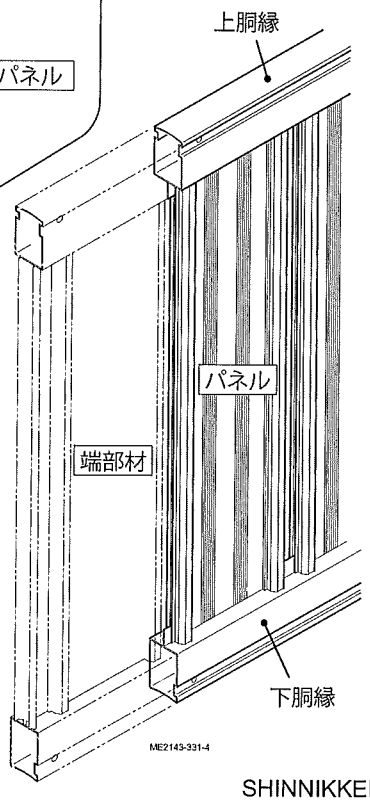
● R1 型・R2 型

●フェンス切詰め位置

※本図は、分かりやすさのために、胴縁を表記しない状態で図示しています。



ME2143-334-4



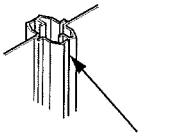
※本図は、R1 型の場合を示しています。

ME2143-331-4

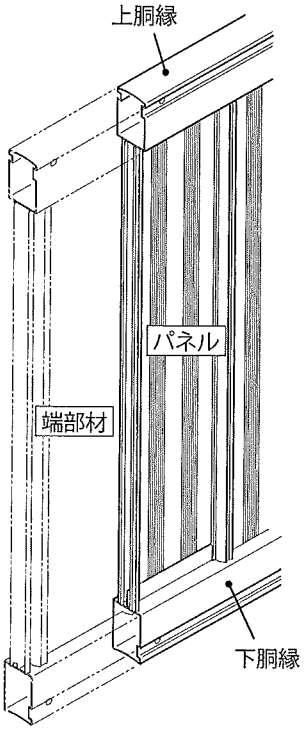
● R3 型

●フェンス切詰め位置

※本図は、分かりやすさのために、胴縁を表記しない状態で図示しています。



ME2143-335-4



ME2143-332-4